

世田谷村日記

石山修武

七月九日 月

星の子愛児園地鎮祭。明日から世田谷村工事がまとめの段階に入り、その準備で忙しい。決めなくてはならぬ事が山積されている。

六月三〇日

今日は一日ゆっくりと休み。午前中たまっていた原稿を二本書く。

早朝、むらさき式部二本、松葉ボタン一、かづら一木を屋上にあげた。

午後、地下室で打ち合わせ。

七月七日(土)

昨日、唐桑町長になった佐藤和則がやってきて、久し振りに飲む。一九八八年の唐桑臨海劇場からの付き合いだから、もう十二年になるけれど、全然変らない人だ。唐桑での試みも今もつと鮮明に行う事が出来れば生き返らせることができるのだが……。支援センターのDMをホームページに代えて再出発させる第一号は唐桑ものがたりにしようかと考えている。

今日は朝五時に起きてしまい、屋上に上った。野菜に水をやり、ポーツとして過す。午後、プラムの木を鉢から屋上に上げる。カロライン・ジャスミンの鉢を代えた。

学生がカーテンの生地(木綿)にカキ渋を塗ってくれて、上手くゆけば良いのだが。階段、台所の大理石とどく。中村船具の手スリの部品とどく。

家のコト、すこしばかり眼に見えてすすむ。

七月十日 (火)

北海道ヘレンケラー記念塔、来週全て完成するとの報入る。世田谷村、ヘレンケラーと期せずして二物件が完成する事になった。